

志賀原子力発電所 2号機
主蒸気止め弁(D)開度指示計用検出器に係わる警報の発生について

定格電気出力一定運転中の志賀原子力発電所 2号機において、平成22年 6月 2日 17時34分、主蒸気止め弁* (D)開度指示計用の検出器の異常を示す警報が発生し、3個設置している検出器のうち、1個の検出器からの出力信号低下を確認しました。

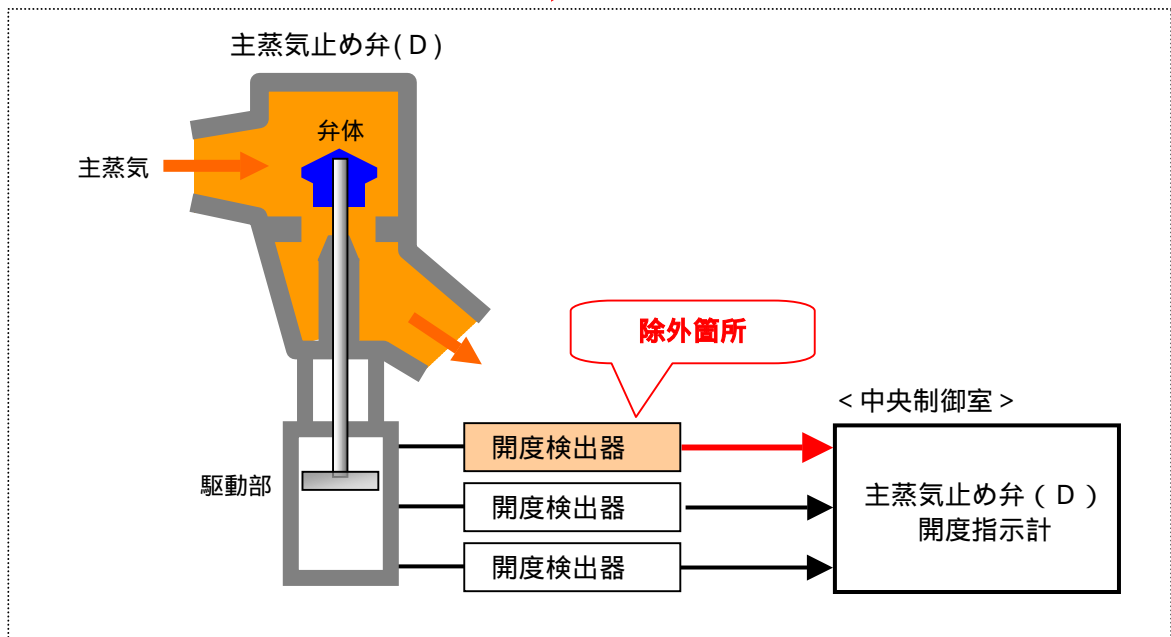
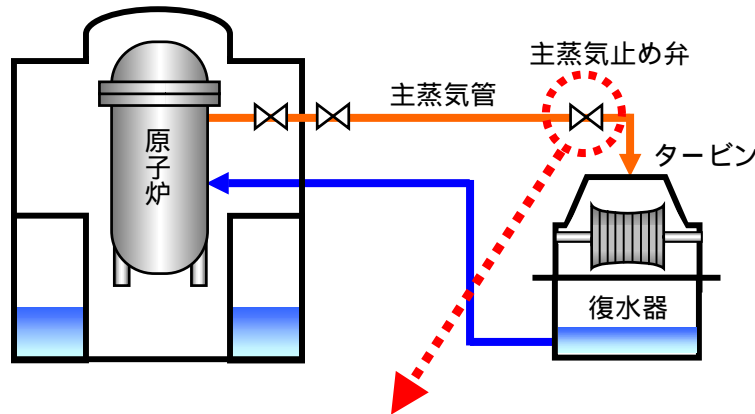
主蒸気止め弁(D)の開度は、残りの検出器により正常に指示しており、6月4日15時10分、出力信号が低下した検出器を除外し、警報を解除しました。なお、主蒸気止め弁の開度指示計は、原子炉の起動過程で使用しているものです。

現場を確認したところ、検出器の部品の一部が脱落していたため、当該検出器を次回の定期検査時に新品と取り替えます。

外部への放射能の影響はありません。

*：主蒸気止め弁

タービン起動時に開き、タービンへ主蒸気を送る弁で、主蒸気管 4本に 1弁ずつ設置している。



主蒸気止め弁概要図